

## ZWS Manager アップデート手順のご案内

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本紙では、「ZWS Manager」のアップデートを行う方法を説明しています。

ご利用の環境により手順が異なりますので、以下にしたがって進めていただきますようお願いいたします。

接続方法については、【HDL-ZWS シリーズ 管理マニュアル】内の【設定方法】をご覧ください。

### 環境の確認と準備

以下の環境をご確認の上、アップデートにお進みください。

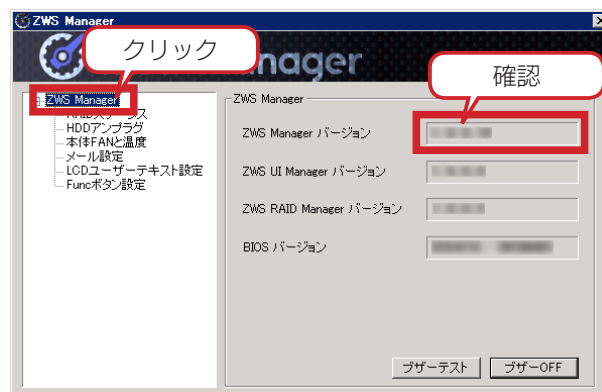
ZWS Manager バージョン Ver.1.03 以降の場合は確認の必要はありません。【アップデート手順】(4 ページ)へお進みください。

#### 【ZWS Manager バージョンの確認方法】

①タスクトレイにあるアイコンをクリックします。



② ZWS Manager 左側ツリーの一番上にある [ZWS Manager] をクリックすると、左側に ZWS Manager バージョンが表示されます。



## 1

eSATA ハードディスクを現在使用しているかどうかご確認ください。

- 使用していない → 2 へお進みください。
- 使用している → 以下の手順にしたがってください。

① ZWS Manager の [自動再構成] を [無効] に設定します。

② [スタート] → [管理ツール] → [コンピュータの管理] → [ディスクの管理] を起動し、eSATA ハードディスクの状態を確認します。

- ベーシックディスクの場合 → 3 へお進みください。
- ダイナミックディスクの場合 → 4 へお進みください。

## 2

eSATA ハードディスクを過去に使用したことがあるかご確認ください。

- 過去にも使用したことがない → 【アップデート手順】(4 ページ)へお進みください。
- 過去に使用したことがある → 以下の手順にしたがってください。

① ZWS Manager の [自動再構成] を [無効] に設定します。

② [スタート] → [管理ツール] → [コンピュータの管理] → [ディスクの管理] を起動し、eSATA ハードディスクの状態を確認します。

- [不足] ディスクが存在しない場合 → 【アップデート手順】(4 ページ)へお進みください。
- [不足] ディスクが存在する場合 → 4 へお進みください。

### 3

以下の手順にしたがってください。

- ① HDL-ZWS シリーズ の電源を切って、eSATA ハードディスクを取り外します。
- ② **【アップデート手順】** (4 ページ) へお進みください。

### 4

以下の手順にしたがってください。

- ① eSATA ハードディスクを接続していない場合は、接続します。
- ② [スタート]→[管理ツール]→[コンピュータの管理]→[ディスクの管理]を起動し、eSATA ハードディスクの状態を確認します。
  - eSATA ハードディスク上のボリュームがシンプルボリュームの場合 → 5 へお進みください。
  - eSATA ハードディスク上にシステムボリュームまたはデータボリュームが存在する場合 → 6 へお進みください。

### 5

以下の手順にしたがってください。

- ① eSATA ハードディスクの内容をバックアップします。
  - ※ eSATA ハードディスク内のデータバックアップが必要な場合のみ
- ② eSATA ハードディスクのボリュームをすべて削除します。
- ③ eSATA ハードディスクをベーシックボリュームに変換します。
- ④ HDL-ZWS シリーズの電源を切って、eSATA ハードディスクを取り外します。
- ⑤ **【アップデート手順】** (4 ページ) へお進みください。

### 6

以下の手順にしたがってください。

- ① データボリュームの内容を USB ハードディスクにバックアップします。
  - ※ eSATA ハードディスク内のデータバックアップが必要な場合のみ
- ② HDL-ZWS シリーズ の電源を切って、USB ハードディスクと eSATA ハードディスクを取り外します。
- ③ HDL-ZWS シリーズ を起動し、データボリュームの RAID モードを確認します。
  - データボリュームがストライプボリューム (RAID0) の場合 → 7 へお進みください。
  - データボリュームが RAID 5 ボリューム (RAID5) の場合 → 8 へお進みください。

### 7

以下の手順にしたがってください。

- ① HDL-ZWS シリーズ を起動し、ZWS Manager の [自動再構成] を [有効] に設定します。
- ② 右クリックし、表示されたメニューから [ボリュームの削除] をクリックし、ボリュームを削除します。
- ③ 自動再構成により内蔵ディスク上にシステムボリュームおよびデータボリューム (RAID5) が構築されるまで待ちます。
- ④ ZWS Manager の [RAID モード変更] で RAID0 に変更します。
- ⑤ 9 へお進みください。

### 8

以下の手順にしたがってください。

- ① HDL-ZWS シリーズ を起動し、ZWS Manager の [自動再構成] を [有効] に設定します。
- ② 自動再構成により内蔵ディスク上にシステムボリュームおよびデータボリューム (RAID5) が構築されるまで待ちます。
- ③ 9 へお進みください。

## 9

以下の手順にしたがってください。

- ① ZWS Manager の [ 自動再構成 ] を [ 無効 ] に設定します。
- ② eSATA ハードディスクを接続します。
- ③ [ ディスクの管理 ] で eSATA ハードディスクの状態を確認します。  
[ 異形式 ] または [ 無効 ] となっている場合は、右クリックし、表示されたメニューから [ ボリュームの再アクティブ化 ] をクリックします。
- ④ eSATA ハードディスクについて、右クリックして表示されたメニューから [ ボリュームの削除 ] をクリックし、ボリュームを削除します。
- ⑤ eSATA ハードディスクをベーシックボリュームに変換します。  
変換するディスク上で右クリックし、表示されたメニューから [ ベーシックディスクに変換 ] を選択します。
- ⑥ HDL-ZWS シリーズの電源を切って、eSATA ハードディスクを取り外します。
- ⑦ **【アップデート手順】** (4 ページ) へお進みください。

# アップデート手順

**1** ZWS Manager の以下の設定をメモします。(設定されている場合のみ)

メール設定	有効 / 無効
	SMTP サーバー
	SMTP サーバーポート番号
	メール差出人アドレス
	認証方式
	認証先 POP サーバー名
	ユーザー名
	パスワード
	メール送信先アドレス
	エンコード
LCD ユーザーテキスト設定	有効 / 無効
	LCD 上段
	LCD 下段
Func ボタン設定	有効 / 無効
	アプリケーション

**2** ZWS Manager をアンインストールします。以下の手順にしたがってください。

- ① [スタート] → [コントロールパネル] をクリックします。
- ② [プログラムと機能] (または [プログラムのアンインストール]) をクリックします。
- ③ 表示されたプログラムの一覧から [ZWS Manager] を選択し、[アンインストール] をクリックします。
- ④ [選択したアプリケーション、および全ての機能を完全に削除しますか?] と表示されたら、[はい] をクリックします。
- ⑤ [アンインストール完了] 画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

**3** 新バージョンの ZWS Manager をインストールします。  
SETUP.EXE を起動し、画面の指示にしたがってください。

**4** スタートメニューから [すべてのプログラム] → [I-O DATA] → [ZWS Manager] → [ZWS Manager] を起動します。

**5** 1 でメモした ZWS Manager の設定内容を設定します。(設定されていた場合のみ)

**6** eSATA ハードディスクのデータをバックアップした場合のみ、以下の手順にしたがってください。

- ① eSATA ハードディスクを接続します。
- ② eSATA ハードディスクをフォーマットします。
- ③ バックアップしたデータを eSATA ハードディスクに書き戻します。

これで、ZWS Manager のアップデートは完了です。